

# 野洲市民病院整備事業

## 基本設計（案）について

【野洲市民病院整備事業 特別委員会 資料】

市立野洲病院

令和6年5月20日

|                         |       |      |
|-------------------------|-------|------|
| <b>1. 新病院の概要について</b>    | ..... | p.2  |
| (1) 建物の概要について           | ..... | p.3  |
| ①施設概要                   | ..... | p.3  |
| ②補足資料                   | ..... | p.5  |
| <b>2. 基本設計図について</b>     | ..... | p.7  |
| (1) 配置計画・外部動線計画について     | ..... | p.8  |
| (2) 各階平面図について           | ..... | p.9  |
| <b>3. 内部のイメージについて</b>   | ..... | p.16 |
| <b>4. 今後のスケジュールについて</b> | ..... | p.21 |
| (1) 全体スケジュールについて        |       |      |



## 1.新病院の概要について

# 1. 新病院の概要について

## (1) 建物の概要について

### ①施設概要-1

|      | 基本設計（案）                                                 | 要求性能                                                               |
|------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 延床面積 | 約15,800m <sup>2</sup>                                   | 14,850m <sup>2</sup> 以上とする                                         |
| 階数   | 地上6階建て（P H 1階）                                          | 提案によるものとする                                                         |
| 構造   | 鉄骨造                                                     | 提案によるものとする                                                         |
| 耐震設計 | 構造種別は耐震構造とする<br>右記条件を満たす設計とする                           | 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の構造体：I類、建築非構造部材：A類、建築設備：甲類で、災害拠点病院に求められる基準に適合する |
| 基礎構造 | 杭基礎（鋼管コンクリート杭）とする<br>地表面から約2.6m以深の砂礫層（液化化層よりも下層）を支持層とする | 地震時に病院機能確保と十分な安全確保できるように、地質調査結果を基に設定する                             |

# 1. 新病院の概要について

## (1) 建物の概要について

### ①施設概要-2

|          | 基本設計（案）                                                                                                               | 要求性能                                                |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 液状化対策    | 地質調査結果より、部分的に液状化するが大半の地層が液状化しないと判定された。液状化の程度は「小」。地表面付近に非液状化層が3m以上あれば、以深の砂層で液状化が発生してもその影響は地表に現れないという考え方があり、特別な対策は実施しない | 病院、附属棟、インフラなどで対策を実施し、機能に支障がないようにする                  |
| 非常用発電機設備 | 右記条件を満たす設計とする                                                                                                         | 連続運転時間は72時間以上とする                                    |
| 給水設備     | 右記条件を満たす設計とする<br>井水利用については、水質調査をした層の井水の検査結果が思わしくなかったため、今回の病院整備では計画しない（将来設置可能なスペースを確保する）                               | 災害時の備蓄として非常時における3日分を備蓄できるように計画する<br>井水利用は提案によるものとする |
| 排水設備     | 右記条件を満たす設計とする                                                                                                         | 非常用排水貯留槽を設け、排水機能を3日間以上維持する                          |

# 1. 新病院の概要について

## (1) 建物の概要について

### ②補足資料-1

#### 1.5 地盤の液状化判定結果

液状化の判定は、「建築基礎構造設計指針」に基づき行う。下表より、大半の地層が液状化しないと判定され、液状化する層は、部分的であることが判る。また、地表面最大水平変位 $D_{cy}$ は、0.00 ~ 0.09mを示し、液状化の程度は、「軽微」または「小」と判定されるため、敷地全体として液状化の影響は小さいと判断する。また、下図<sup>1)</sup>によると、地表面付近に非液状化層が3m以上あれば、以深の砂層で液状化が発生してもその影響は地表面に現れないという考え方がある。したがって、建物の配管ルート等における液状化対策は不要と考える。

表 液状化簡易判定結果(地表面設計用水平加速度  $\alpha_{max} = 350gal$ )

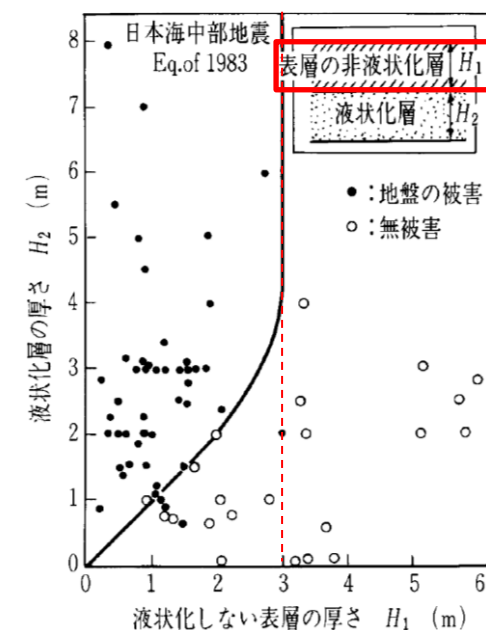
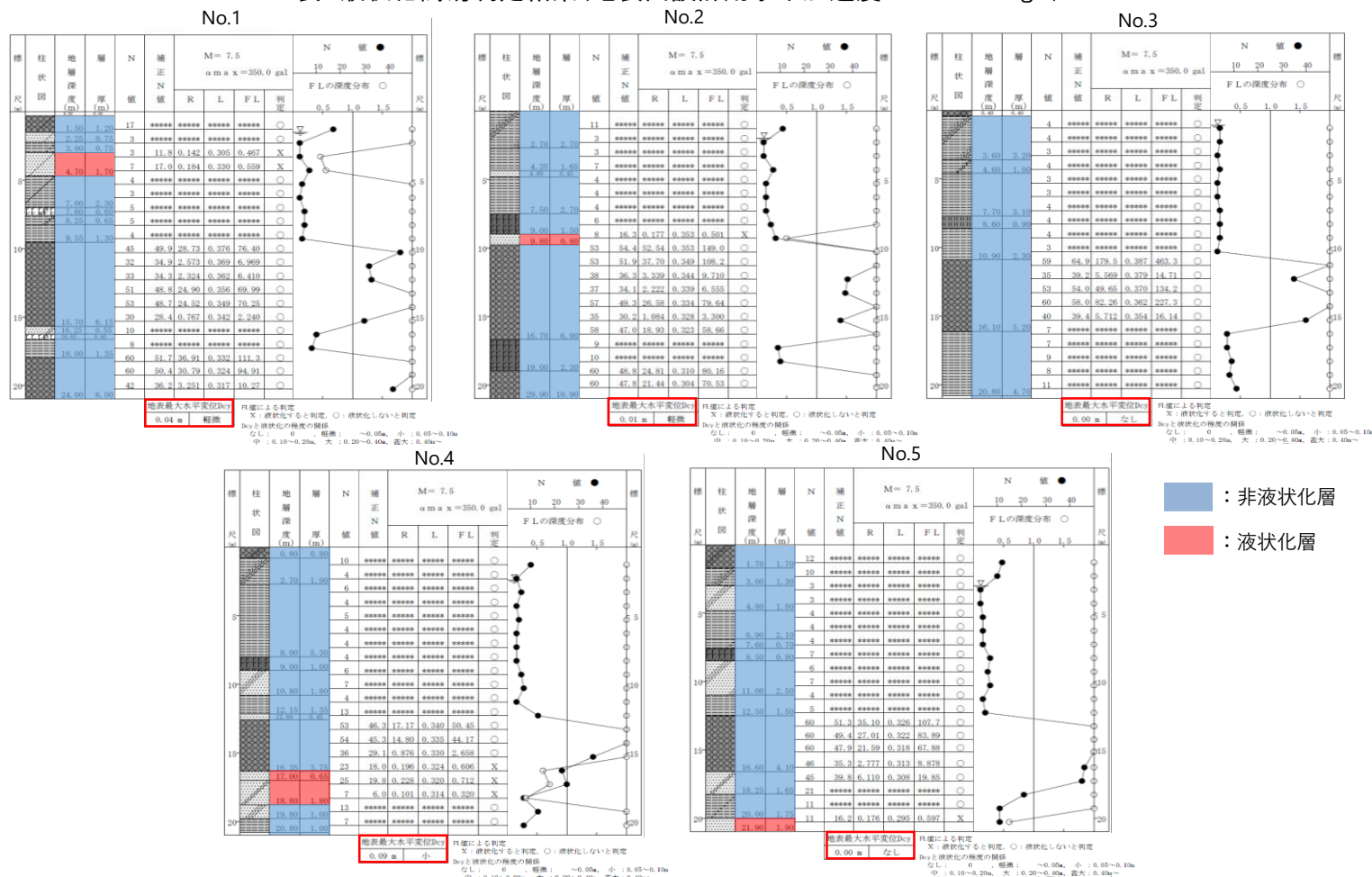


図 液状化の影響が地表面に及ぶかを定める上層厚さと液状化厚さとの関係

1) 石原研而、根入れ基礎に及ぼす地震時における深部液状化の影響、地盤工学会「土と基礎」編集委員会 編44 (4)、pp.6~9、1996

# 1. 新病院の概要について

## (1) 建物の概要について

### ②補足資料-2

#### 1.6 圧密沈下

下表より、敷地全体の傾向として、比較的大きな圧密降伏応力が確認された。

代表としてNo.3地点の有効土被り圧と圧密降伏応力の関係を下図に示す。各試料の圧密降伏応力は有効土被り圧よりも大きいため、過圧密粘土であると考えられる。したがって、圧密沈下の影響は小さいと判断する。

表 圧密特性一覧表

| 地点    | 採取深度<br>(m)   | 試料<br>番号 | 地層名    | 地層<br>記号 | 圧密試験結果<br>(段階载荷) |                                      |
|-------|---------------|----------|--------|----------|------------------|--------------------------------------|
|       |               |          |        |          | 圧縮指数<br>Cc       | 圧密降伏応力<br>pc<br>(kN/m <sup>2</sup> ) |
| No. 1 | 7.60 ~ 8.25   | D-1      | 沖積腐植土層 | Pt       | 0.23             | 596                                  |
| No. 2 | 3.00 ~ 3.90   | Tw-1     | 沖積粘性土層 | Ac1      | 0.31             | 360                                  |
| No. 3 | 3.70 ~ 4.40   | Tw-1     | 沖積粘性土層 | Ac1      | 0.26             | 398                                  |
|       | 5.70 ~ 6.30   | Tw-2     | 沖積粘性土層 | Ac2      | 0.38             | 231                                  |
|       | 7.90 ~ 8.60   | Tw-3     | 沖積腐植土層 | Pt       | 1.29             | 148                                  |
|       | 16.90 ~ 17.70 | D-1      | 洪積粘性土層 | Dc1      | 0.29             | 617                                  |
| No. 5 | 5.50 ~ 6.30   | Tw-1     | 沖積粘性土層 | Ac1      | 0.36             | 512                                  |

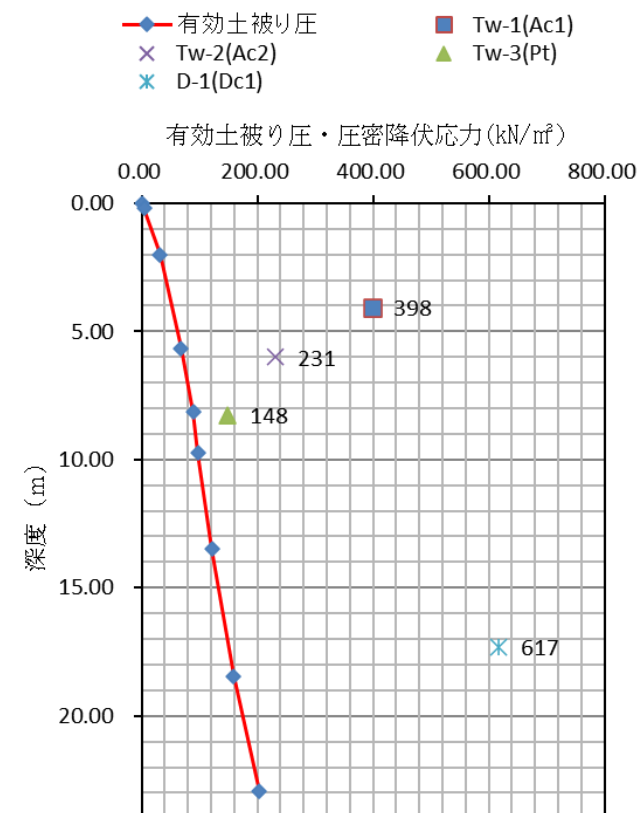


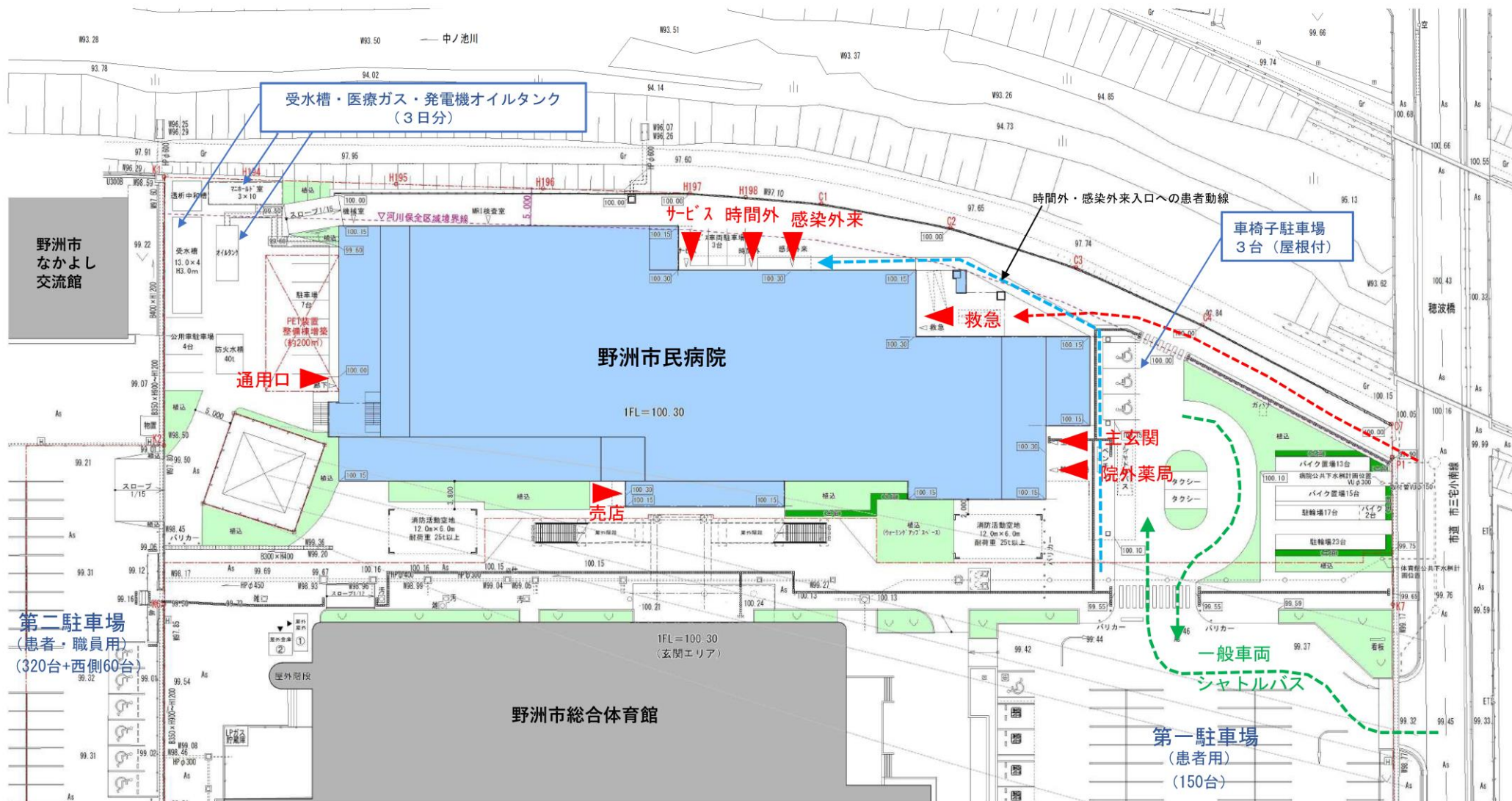
図 有効土被り圧と圧密降伏応力の関係 (No.3)

## 2.基本設計図について



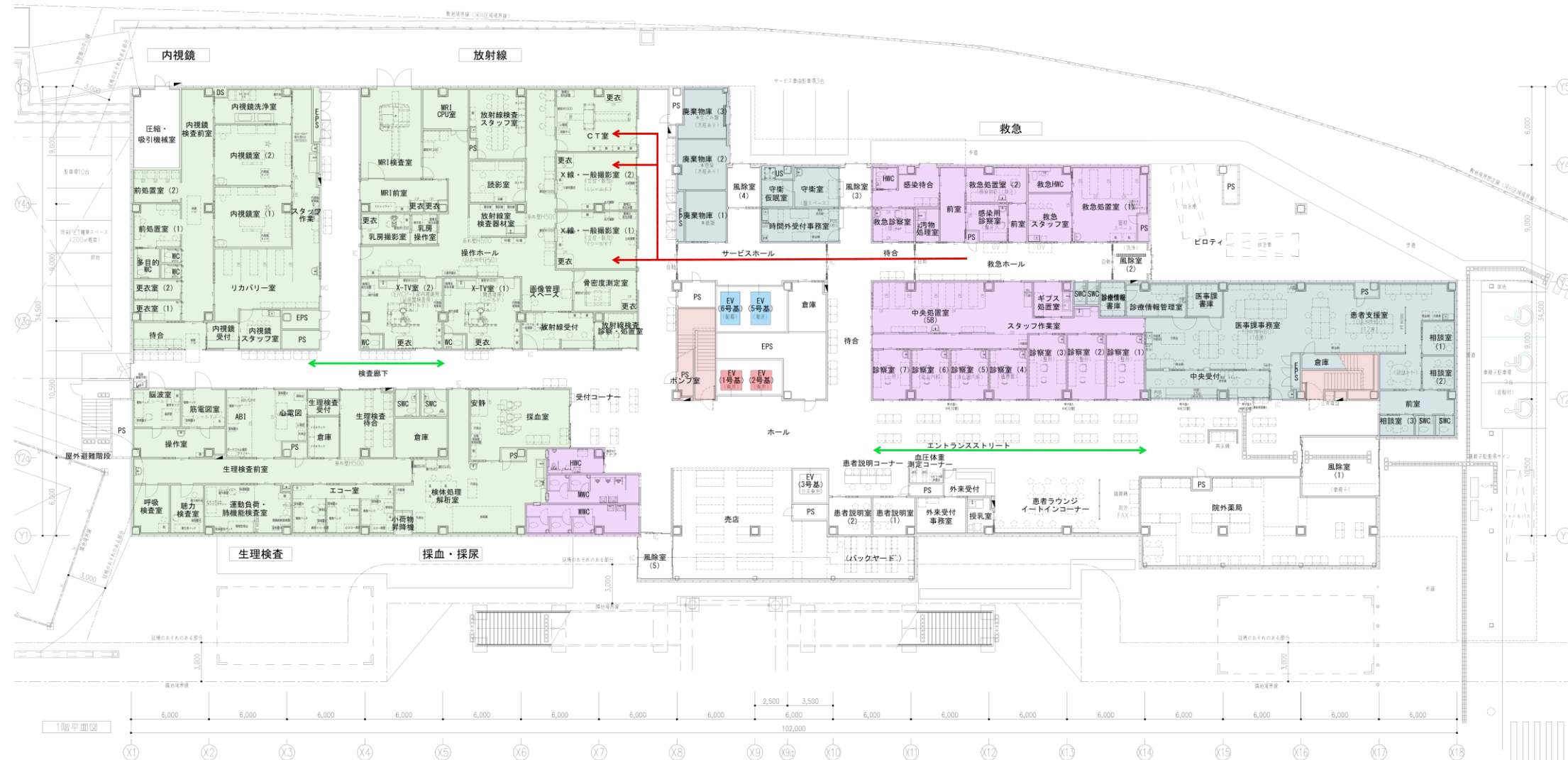
## 2. 基本設計図について

### (1) 配置計画・外部動線計画について



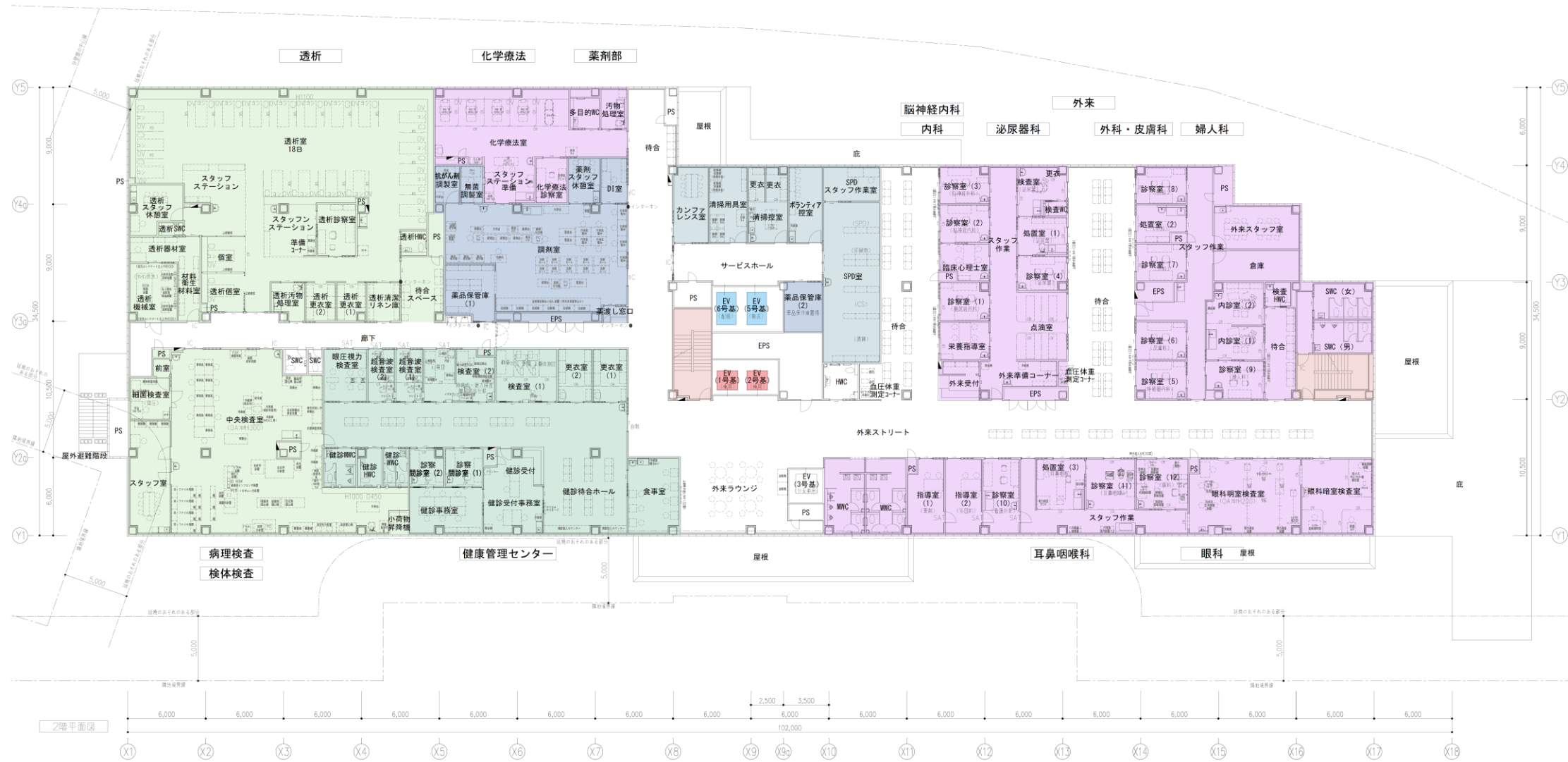
# 2. 基本設計図について

## (2) 1階平面図について



# 2. 基本設計図について

## (2) 2階平面図について





# 2. 基本設計図について

## (2) 3階平面図について



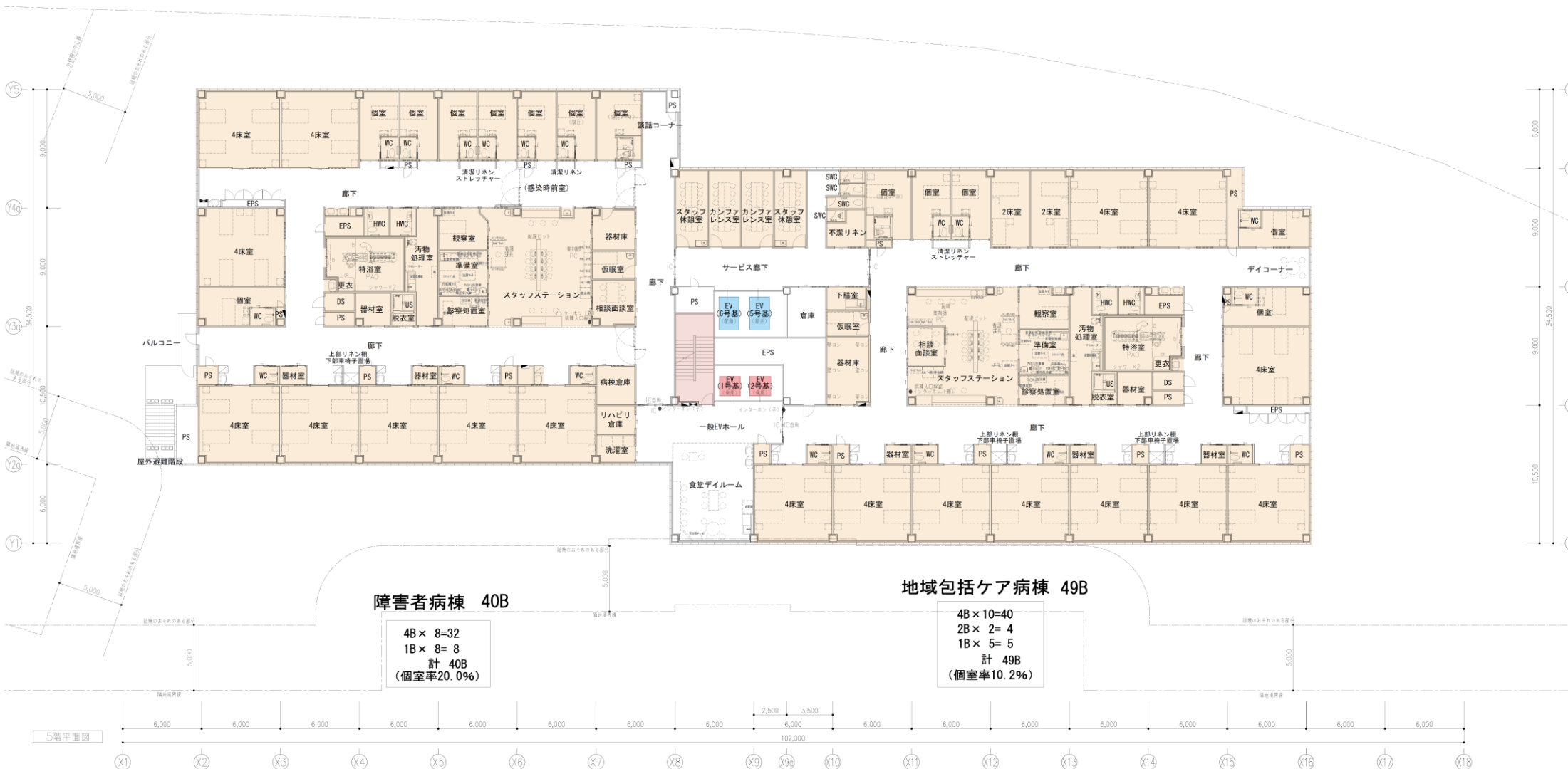
# 2. 基本設計図について

## (2) 4階平面図について



# 2. 基本設計図について

## (2) 5階平面図について



20th Anniversary  
野洲市制 20周年

6階平面図

※リハビリ室広さ 約600㎡

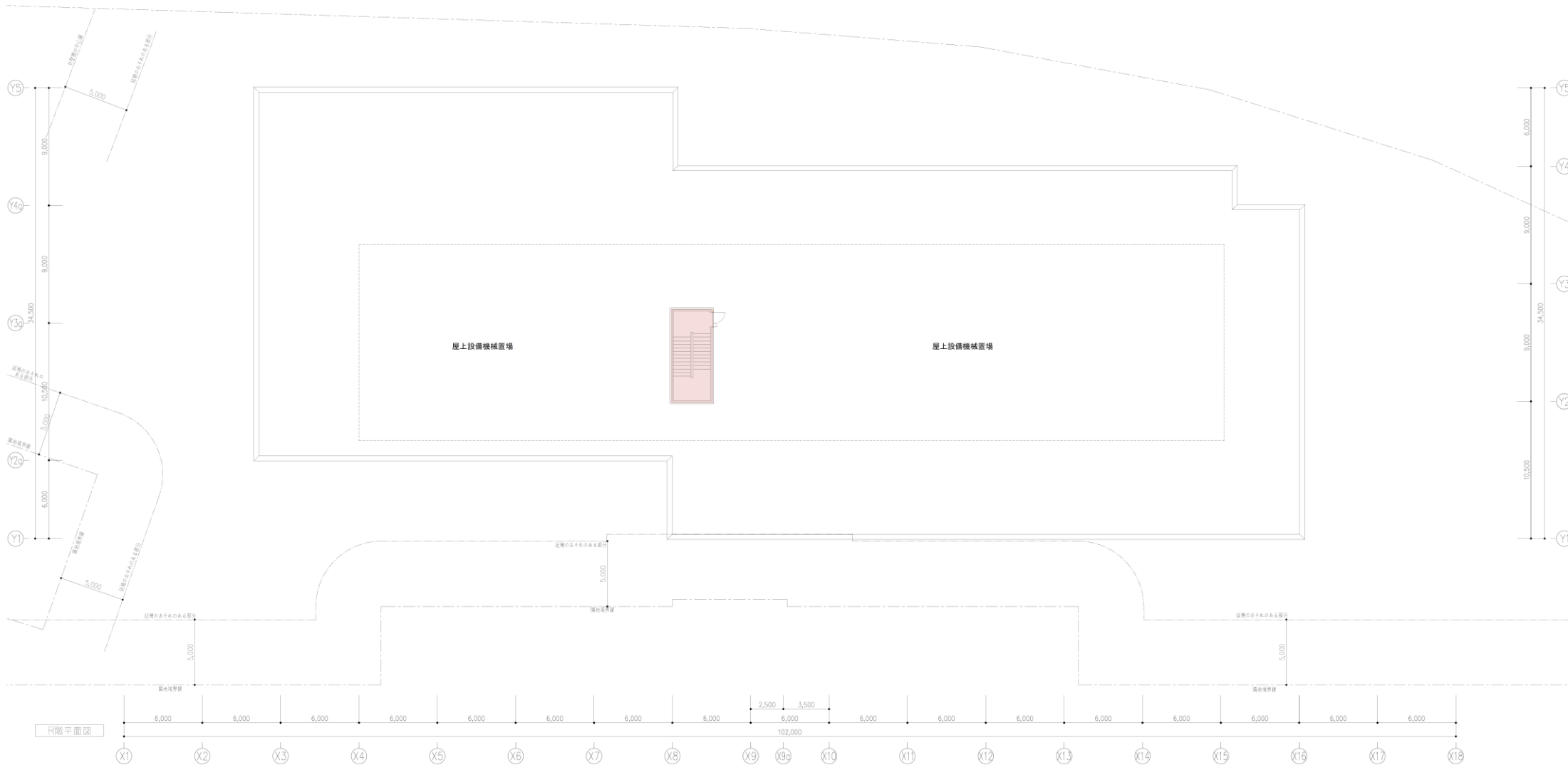
回復期病棟 50B

4B×11=44  
2B×1=2  
1B×4=4  
計 50B  
(個室率12.0%)

## 2. 基本設計図について



### (2) 塔屋階平面図について





### 3.内部のイメージについて

これより  
VRを上映します・・・



### 3. 内部のイメージについて



①1階 中央受付



②1階 右【患者ラウンジ イートインコーナー】



③1階 左【外来用エレベータ（1基）、売店】  
右【エレベータ（2基）】



④2階 外来ラウンジ  
（奥の扉より健康管理センターへ）

### 3. 内部のイメージについて



⑤ 2階 健診待合ホール



⑥ 2階 外来受付



⑦ 4階 スタッフステーション前



⑧ 4階 4床室前



### 3. 内部のイメージについて



⑨ 4階 個室



⑩ 4階 4床室



⑪ 6階 リハビリ部門



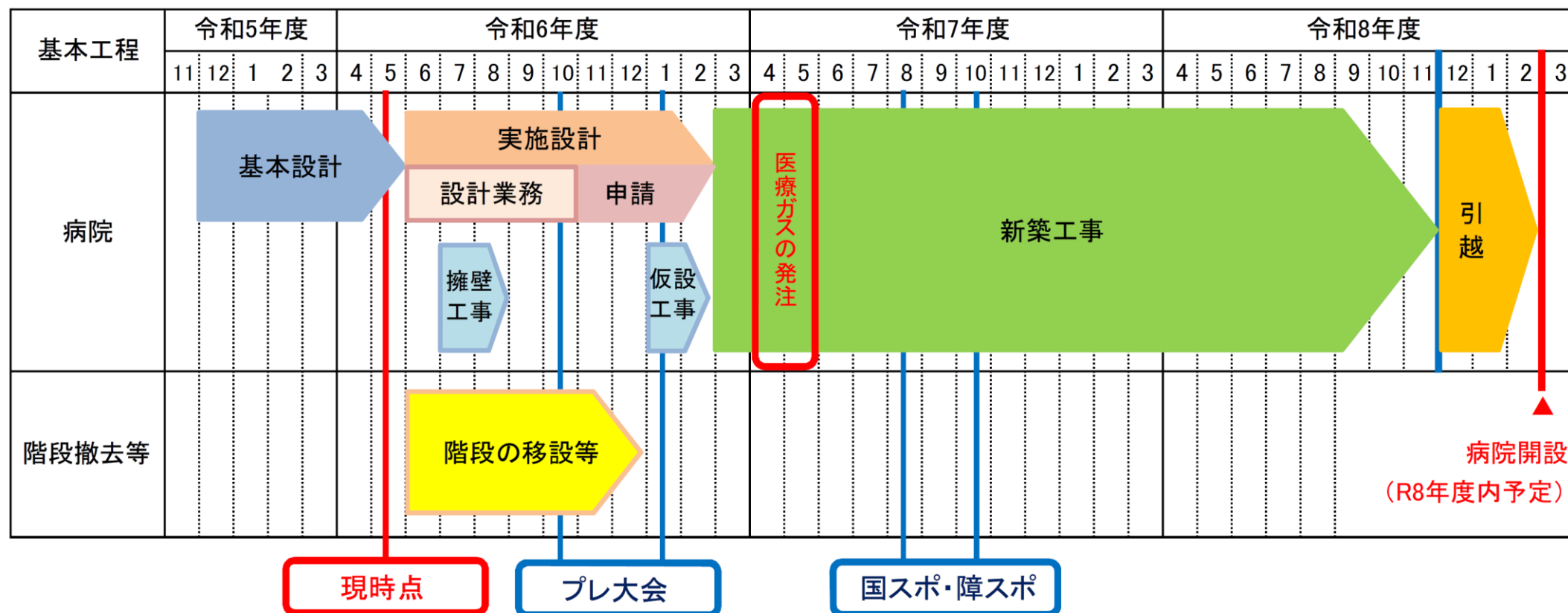
⑫ 6階 リハビリ部門

## 4. 今後のスケジュールについて



## 4. 今後のスケジュールについて

### (1) 全体スケジュールについて



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツのリハーサル大会中及び準備・片付け等の期間は、工事の中止等、当該大会事業に対し厳に影響を与えない方策を講じます。

なお令和6年度におけるリハーサル大会の日程は下記のとおりです。

#### ■リハーサル大会

卓球 : 令和6年10月18日(金) ~ 10月20日(日)

バスケットボール : 令和7年1月25日(土) ~ 1月26日(日)